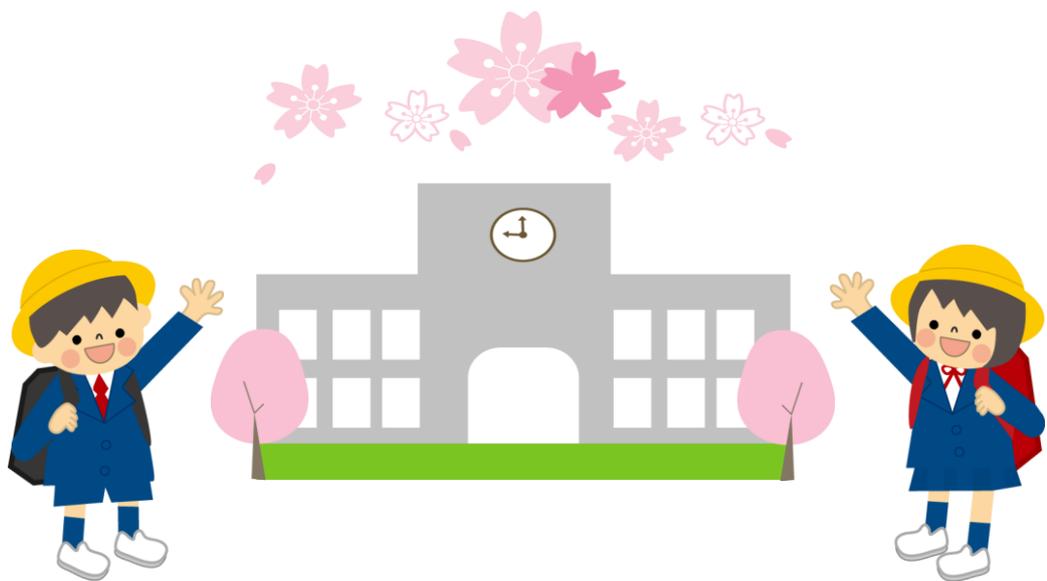




柏市版

Ⅳ.スタートカリキュラム





(1) 人間関係づくり 詳細：P20

新1年生の中には、小学校に入学した期待よりも不安や緊張の方が大きいという子どもがたくさんいます。そこで、幼稚園や保育園、こども園で経験しているような遊びを取り入れ、まずは担任とそれから友達と仲良くなれることを目指します。

子どもにとって、新しい環境の中で自分が知っている活動を行うことは安心感があり、担任も子どもたちの平常の表情を見ることができます。

(引継ぎの際に、幼稚園や保育園、こども園での遊びや歌を聞いておくとよいですね。)

(2) 時間割の工夫 詳細：P21以降

通常45分単位で行われる授業を必要に応じて、弾力的に区切るモジュール制を取り入れましょう。15分単位とし、15分・30分・45分…等、内容に応じて授業を組み立てます。これにより、短い時間に慣れ親しんだ手遊びや歌を入れて意欲を持たせたり、少しずつ身につけさせる学習習慣や生活習慣を繰り返し指導したりすることができます。また、活動によっては60分間にする等、柔軟に計画を立てることが可能です。さらに、4月の始めを全て慣らし期間とせず、教科書に準拠した計画のモジュール授業を行うことで、授業時数にもカウントできます。

(前年度末の1学年の余剰時数を把握しておくとうよいですね。)

(3) 「勉強したい！」子どもの思い 詳細：P38以降

「今日はどんな楽しいことをやろうかな」とカリキュラムの構成を工夫することは、大変重要なことです。ただ、小学校に入ったら、「勉強したい」、「字を覚えたい」、「計算ができるようになりたい」と、学校での『勉強』を楽しみにしている子どもも大勢います。

そこで、国語や算数等の教科の学習についても、無理なく楽しく学べるよう徐々に入れていきましょう。「学校の勉強は難しいことではない、楽しいものだ。」と子どもが感じられるような授業を組み立てることで、また、子どもの学習のきっかけが生まれるような学習環境の工夫をしましょう。



☆人間関係づくり☆

小学校によっては、20園から30園の幼稚園・保育園・こども園から子どもが入学してきます。クラスの中で同じ園からきたのは自分一人、という場合も多々見られます。このように、1年生の子どもたちにとって、新しいクラスは、新しい人間関係でスタートするととも緊張感のある集団でもあります。慣れ親しんできた幼稚園・保育園・こども園のクラスでは自己を発揮していた子どもも、新しいクラスではすぐにそうした力は発揮できません。そこで、幼稚園や保育園、こども園で経験しているような遊びを取り入れ、まずは担任とそれから友達と仲良くなれることを目指します。スタートカリキュラムでは、一人ひとりが新しい人間関係を築くために、心をほぐし、安心感がもてるようにすることが大切です。

◎楽しくできるショートエクササイズ（例）

①だれでもできるじゃんけんをつかって（4月前半）		
・じゃんけんチャンピオン	・じゃんけん握手	・じゃんけん肩たたき
・あと出しじゃんけん	・じゃんけん質問	・じゃんけん自己紹介
・進化じゃんけん	・じゃんけん列車	
②集中して聞くというルールを（4月前半）		
・命令ゲーム	・サケ、サメ（タコ、タイ）	・（指）キャッチ
・落ちた落ちた	・聖徳太子ゲーム	
③友達との関わり体験を（4月後半）		
・手つなぎおに	・こおりおに	・バナナおに
・猛獣狩りに行こうよ	・木の中のリス	・震源地をさがせ
・わたしはだれでしょう	・なべなべそこぬけ	・せっせっせ（手遊び）

☆緊張感の出し方は子どもによって違います。黙っている子どももいれば、逆に非常に口数が増える子どももいます。落ち着かずに立ち歩いたり、集団から離れて遠くから眺めたりしている子どももいます。入学当初は、一人ひとりの緊張感を理解しながら子どもを捉え、受け入れていくことが重要です。そして、その上で、新しい人間関係をつくり、安心感を確かなものにしていきます。

☆気持ちを切り替える時にも、楽しみながら手を動かしたり、みんなと同じ動きをしたりすると効果的です。



スタートカリキュラム編成のポイント(2)

時間割の工夫



☆生活科を中心とした合科的・関連的な学習形態☆

入学して間もない1年生にとって、教科はいくつにも分かれているものの、子どもの意識の中では分かれていません。そこで、身の回りの興味や関心事から学習を出発する生活科を軸に、合科的・関連的な学習を組み立てます。そのためには、他教科や道徳などどのように関連し、そこで何をねらっているかを把握しておくことが大切です。

①生活科と合科的・関連的に扱える各教科の活動例

☆国語☆

- 絵を見て気づいたことや想像したことを話し合う。
- 相手が聞き取れるように話す。
- 姿勢、口形に気をつけて正しく発音する。
- 鉛筆の持ち方や字形、筆順に注意して書く。
- 正しい姿勢等に気をつけて自己紹介カードに記入する。
- ひらがなの言葉を正しく書いたり読んだりする。
- いつ、どんなあいさつをするか話し合い練習する。
- 体験から話したいことを見つける。
- 体験して見つけたことや面白かったことを友達と伝え合う。
- 自己紹介をして、みんなに自分のことを知ってもらう。

☆算数☆

- 10までの数について、読んだり書いたりする。
- 数の大きさを比べる。
- 1つの数の構成に着目し、2つの数の和として捉える。

☆音楽☆

- 絵の中から知っている歌を見つけたり気づいたことを発表したりする。
- 音楽に合わせて体を動かしたり、友達と歌ったりすることを楽しむ。
- 歌いながら握手をする。

☆図工☆

- 自分が好きなものを思いつくままに描く。
- 体全体を使って粘土の触り心地を味わう。
- 粘土を丸めたりのばしたりつまんだりして、いろいろな形を見つけることを楽しむ。
- 作品を見せ合い、形や色の面白さやよさを伝え合う。

☆体育☆

- 固定施設を使って楽しく遊ぶ。
- 簡単な規則の鬼遊びを楽しむ。
- リズムに合わせて楽しく体を動かす。

☆道徳☆

- 多くの人とかかわり、充実した日々を送ろうとする意欲づけを図る。

『小学校学習指導要領』では、全教科において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(P2～3参照)」との関連を考慮するよう明記されています。

②柏市版スタートカリキュラム単元 「ともだち たくさんつくろう」

時数	主な活動	45分		
		15分	15分	15分
①	席の近くの友達や担任の先生とあくしゅ大作戦① ・簡単な自己紹介のやり方を知り、近くの友達や担任の先生と笑顔で自己紹介したり楽しく握手や手遊びをしたりする。	国語	生活	生活
②	みんなで一緒に歌ったり遊んだりしよう① ・知っている手遊びを紹介して、みんなで楽しく遊ぶ。 ・音楽の教科書P8・9の絵を見て、見つけた歌をみんなで楽しく歌う。	生活	生活	音楽
③	みんないっしょ (道徳P12～13「みんないっしょ」) ・自分のこれからの学校生活について考える。 ・道徳について知る。	道徳	道徳	道徳
④	みんなで学校の中を歩いてみよう(学校探検①) ・楽しい学校生活にするための約束やマナーについて伝え合う。 ・廊下歩行の約束を守って校内(関心の高い所)をみんなで歩く。	生活	生活	国語
⑤	クラスの友達や担任の先生とあくしゅ大作戦② ・友達や先生と笑顔で自己紹介したり楽しく握手したりする。 ・集団ゲームを通した友達づくりをする。	生活	生活	生活
⑥	自分の名前をしょうかいしよう ・鉛筆の持ち方に気をつけて、初めて名前を書いてみる。 ・友達にカードを見せながら、自己紹介し合う。	生活	図工	国語
⑦	みんなで一緒に歌ったり遊んだりしよう② ③ ・「セブンスステップス」「チェツェッコリ」(音楽P10・11) ・2人組になって歌いながら一緒に踊る。	音楽	音楽	生活
⑨		音楽	音楽	音楽
⑧	自分の好きなものを絵にかいて、友達と見せ合おう ・画用紙にクレヨンで自分の好きなものを自由に絵にかく。 ・絵を見せながら、「わたしの好きなものは〇〇です。」と友達に紹介する。	図工	図工	国語
⑩	友達と外で遊ぼう ・校庭に出て、鬼ごっこや遊具遊びなどをして友達と楽しく遊ぶ。	体育	体育	体育
⑪	お兄さんやお姉さんとなかよしになろう①(1年生を迎える会の練習) ・「1年生を迎える会」に、どんな気持ちで参加したらよいか伝え合う。 ・会で歌う歌をみんなで楽しく歌う。	生活	生活	生活
⑫	お兄さんやお姉さんとなかよしになろう②(1年生を迎える会) ・「1年生を迎える会」(児童会活動)などで、お兄さんやお姉さんと楽しく歌ったり、遊んだりする。	特活	特活	特活
⑬	あいさつをすると (道徳P14「あいさつをすると」) ・気持ちよくあいさつしたり、されたりするとどんな気持ちになるか伝え合う。 ・クラスの中で場面を決めてあいさつごっこをする。	道徳	道徳	道徳
⑭	ねんどとなかよし ・粘土を丸めたり、伸ばしたり、つまんだりして好きな形をつくり、触り心地を楽しむ。	図工	図工	図工
⑮	お兄さんやお姉さんと学校探検に行こう(学校探検②③) ・お兄さんやお姉さんと一緒に学校の中や校庭を探検する。 ・見つけたことを友達に話し、楽しく聞く。	国語	生活	生活
⑯		生活	生活	国語

《 各教科の配当時間 》 計16時間

国語(2時間) 生活(6時間) 音楽(2時間) 図工(2時間) 体育(1時間) 道徳(2時間) 特活(1時間)



環境構成・資料等

《 教科書の開き方 》



1 ページずつ開いて、折り目をつける。
『アイロンをかけるんだよ。』
と声をかけるとよい。

《 雑巾のしぼり方 》



- ①雑巾を縦長になるように折る。
- ②下から握るように持つ。
- ③両手を内側にひねる。
- ④水が出なくなるまでしぼる。
(ひじを伸ばし、脇をしめる)

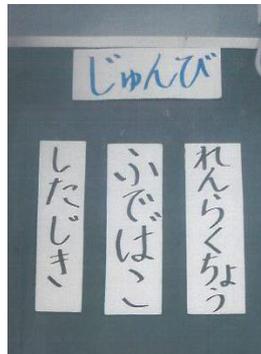
《 かさのとじ方 》



雨の日こそチャンス！！
6年生や他の先生方と協力して指導する。

《 一目でわかる掲示物 》

掲示物によって、やるべきことが一目でわかるようになる。全体で確認するときにも効果的で、見通しを持って過ごせる。また、徐々に自分で確認しながら行動することにつながる。



1年生担任のポイント

《 子ども同士の関係をつくる 》

- 対人関係の不安を共感的に受け止め、隣同士の関係づくりからはじめ、学習や遊びのいろいろな場面を活用して人間関係を広げ、深めていく。
- 簡単な手遊びや友達づくりにつながるゲームなどを取り入れて、出身の園が違う児童同士と一緒に遊ぶ機会をつくる。

二人で手遊び

- ゲーチョコキパーで何作ろう
- 茶つぼ
- アルプス一万尺
- お寺の和尚さん
- おちゃらかほい
- 一匹の野ネズミ
- お弁当箱のうた

慣れ親しんだ歌

- 手をたたきましよう
- おばけなんてないさ
- ドレミのうた
- さんぽ
- 勇気100パーセント